

宇都宮市立今泉小学校第6学年【算数】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

【算数A】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	数と計算	85.7	82.2	81.8
	量と測定	81.4	76.4	74.8
	図形	81.5	74.5	71.8
	数量関係	88.7	84.2	81.3
観点	算数への関心・意欲・態度			
	数学的な考え方			
	数量や図形についての技能	91.4	89.1	87.9
	数量や図形についての知識・理解	77.8	71.1	69.5

【算数B】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	数と計算	68.3	62.6	61.3
	量と測定	60.5	58.0	56.5
	図形	63.6	67.5	65.7
	数量関係	65.5	57.1	56.2
観点	算数への関心・意欲・態度			
	数学的な考え方	51.9	48.6	47.8
	数量や図形についての技能	80.2	78.1	76.2
	数量や図形についての知識・理解	64.5	56.3	54.8

★算数に関する質問紙調査の状況

○良好なもの ●課題が見られるもの

○「算数の勉強は大切だと思いますか。」及び「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。」に対する肯定的な回答の割合が97.4%と94.8%で、全国平均の92.3%と89%を上回っている。
○「算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか。」の肯定的な回答の割合が88.4%で全国平均の81.3%を上回っている。
●「算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思いますか。」及び「算数の問題の解き方がわからないときは諦めずにいろいろな方法を考えますか。」では、肯定的な回答の割合が70.5%と69.2%で全国平均の77.3%と78.1%を下回っている。

★指導の工夫と改善

○良好なもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	A領域の平均正答率は85.7%で全国平均よりも3.9ポイント高い。 ○この領域の設問8問中7問の平均正答率が全国平均より高い。 ●ただし被乗数に、空位のある整数の乗法の計算の正答率が92.2%で全国平均よりも0.6ポイント低い。 B領域の平均正答率は68.3%で全国平均よりも5.7ポイント高い。 ○この領域の設問8問中7問の平均正答率が全国平均より高い。 ●ただし、公倍数に着目して記述する設問で正答率が59.7%で全国平均よりも0.8ポイント低く、無回答が7.8%で、全国平均よりも4.3ポイント低いものの課題が残る。また、示された情報を整理し、筋道を立てて考え、少数倍の長さの求め方を記述する設問では無回答が9.1%で、全国平均よりも4ポイント低いものの課題が残る。	・空位のある乗法等の反復練習に力を入れて指導を進める。 ・公倍数の理解を深めるとともに、記述式の問題に対する苦手意識を解消するため、各単元で考え方をノートに記述したり、個人やグループ、学級全体などで練り合う機会を多く設けるようにする。
量と測定	A領域の平均正答率は81.4%で全国平均よりも6.6ポイント高い。 ○この領域の設問はすべて全国平均を上回っている。 ●しかし、単位量当たりの大きさを求める式を書く設問に課題がある。 B領域の平均正答率は60.5%で全国平均よりも4ポイント高い。 ○この領域の設問5問中4問の平均正答率が全国平均よりも高い。 ●ただし示された情報を基に必要な量と残りの量の大小を判断し、その理由を記述する設問に課題がある。	・単位量当たりの大きさを求める式の意味の理解を深めるために、面積図等を用いて式の意味と計算結果の意味の一致を図れるようにする。 ・記述することへの苦手意識がある。そのために、式で表すだけでなく、図や数直線に表すなど、多様な表現をする機会を設ける。また、課題に取り組んだ際には、解決方法について話し合い、友達と情報交換をする機会等をつくるようにし、基準量と比較量などの根拠を明確にもてるようにする。
図形	A領域の平均正答率は81.5%で全国平均よりも9.7ポイント高い。 ○この領域の設問は全て全国平均より高い。 ●しかし、作図に用いられている図形の約束や性質の理解は67.5%で全国平均よりも15.5ポイント高いものの正答率が高いとは言えない。 B領域の平均正答率は63.6%で全国平均よりも2.1ポイント低い。 ●量の敷き方の約束を基に、残り4枚の長方形の図をかく設問に課題がある。	・三角形や四角形の作図や折ったり切ったりする操作活動を多く取り入れ、視覚的に体験的に理解できるようにする。 ・図形の面積や形を意識して、切ったり折ったりする作業を含め、体験的な活動を多く取り入れるようにする。
数量関係	A領域の平均正答率は88.7%で全国平均よりも7.4ポイント高い。 ○この領域の設問は全て全国平均よりも高い。特に四則の混合した式に合った問題を選ぶ設問の平均正答率は90.9%で全国平均よりも9.9ポイント高い。 ●減法と乗法の混合した整数の計算の平均正答率が84.4%で全国平均よりも3.5ポイント高いものの課題がある。 B領域の平均正答率は65.5%で全国平均よりも9.3ポイント高い。 ○この領域の設問は全て全国平均よりも高い。 ●この領域の設問は全て平均正答率が80%よりも低く理解に課題がある。	・式の意味の理解と正確な計算技能を身につけるために、式の意味を話し合ったり、反復練習等を通して四則計算の約束や筆算等の基本的な事項の理解を深めたりできるようにする。 ・式の意味を考えたり、友達の解決方法を聞いたりするなど、発言・発表の時間を多くとり理解を深められるようにしていく。